

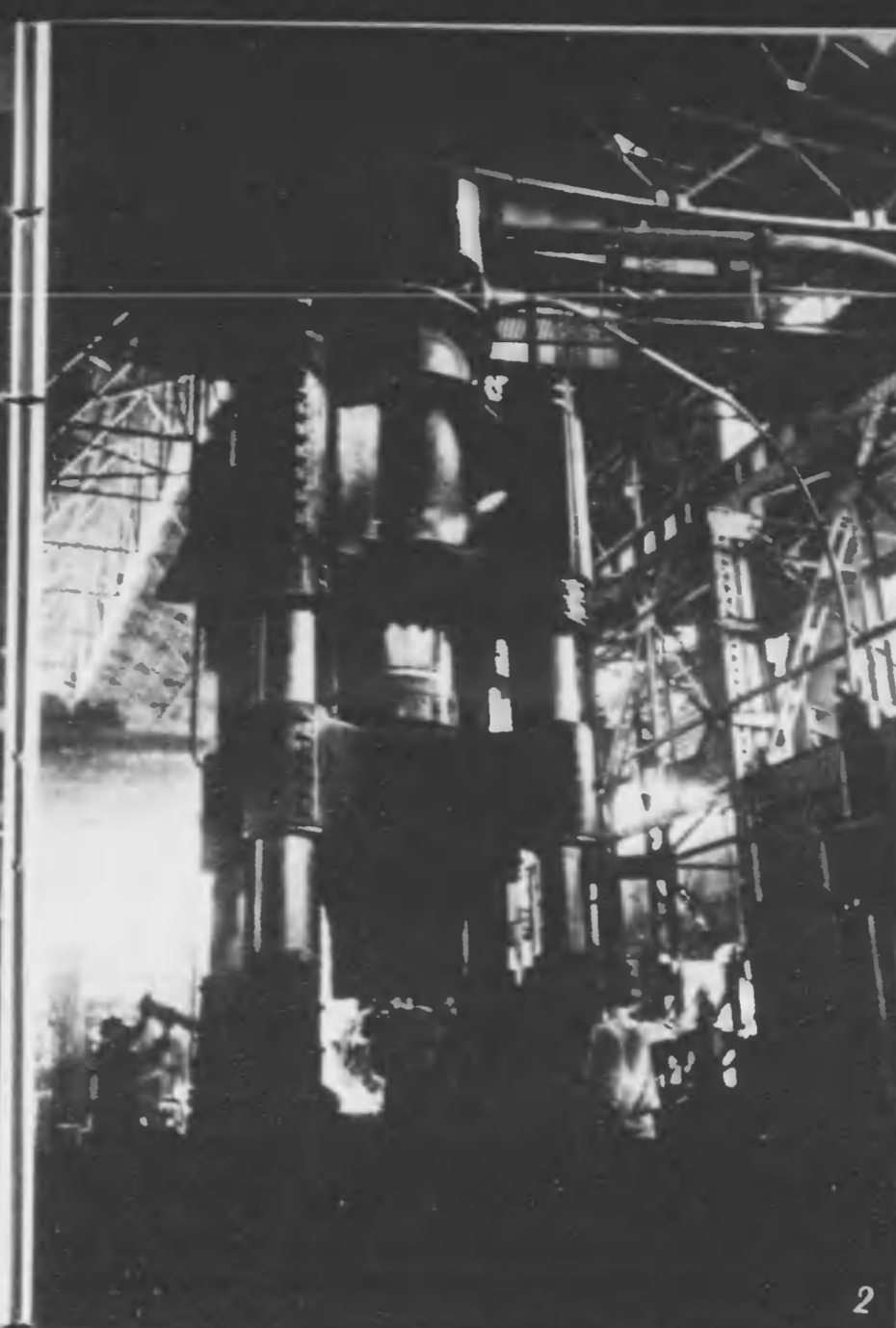
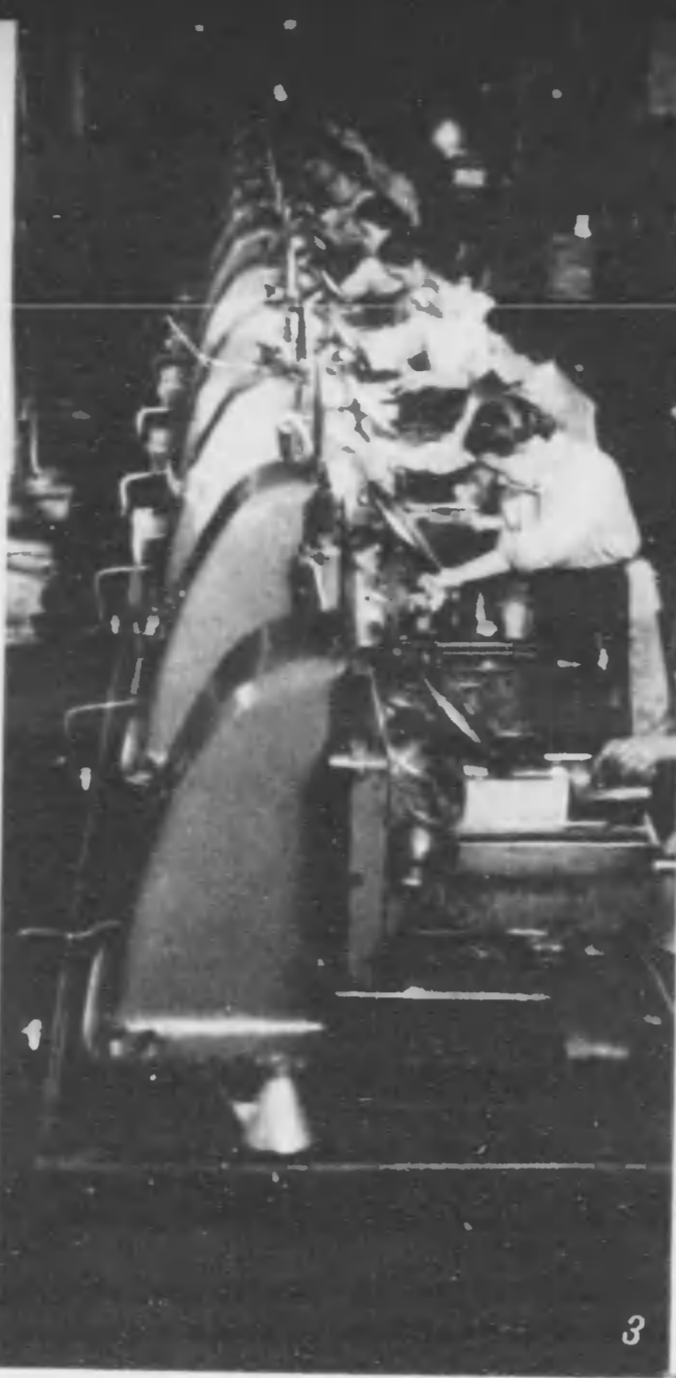
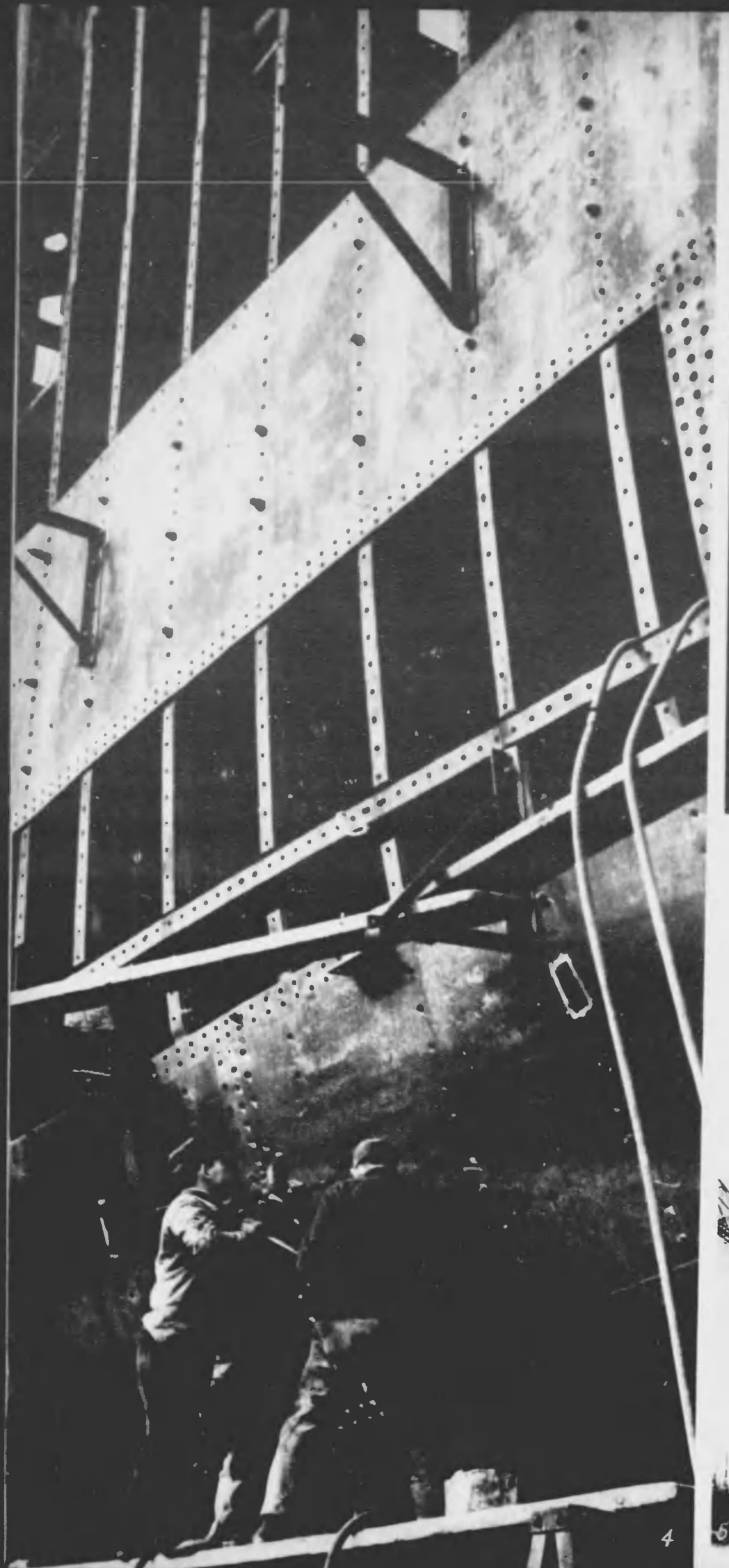


大元帥陛下

修武臺飛行場に臨御

畏くも 大元帥陛下には三月二十七日埼玉縣豊岡町の陸軍航空士官学校第五十五期生徒卒業式に行幸あらせられた

この日 陛下には親しく玉歩を修武臺飛行場に進めさせ給ひ、光榮の新卒業生徒らが展開する飛行演習を大覽あらせられたが、卒業生徒一同は勿論陸軍航空関係者一同は唯々恐懼感激、今後念、重加する陸軍航空の使命を達成、一日も早く大東亞の平和を確立して、聖座を安んじ奉らんことを御誓ひ申上げた



# 船は兵器だ

戦時輸送強化運動

四月一日から  
六月三十日まで



第七十九通常議事再開の勢頭、東條内閣総理大臣は一般施政演説の中で、今日における最も重大な問題は資源の不足に非ずして寧ろ交通運輸の整備如何に存する、と戦時輸送の圓滑を期することを表明したが、こんど政府は四月一日から、六月三十日までの三ヶ月間にわたつて、海陸を通ずる戦時輸送の強化運動を行ふこととなつた。この強化運動こそ赫々たる戦果による南方資源を競争遂行力の擴大強化のため、全幅的に敏速に活用する一方、最近躍進的に増産された石炭その他重要物資の處理を迅速に行ふためのものである。

わが國が長期に耐へて大東亞戰を勝ち抜くためには、開戦以來の貯蔵戰略物資の急速な消耗と、新たな作戰による生産物資の獲得とが完全に調節されなければならない。

幸ひに皇軍が日々に戦果を擴大しつゝある南方諸地域は、石油、ゴム、錫、コブラ、規那皮、マニラ麻等重要軍需資源が無盡に包蔵されてゐる。しかし石油がある、ゴムがある、錫が……といつてみたところで、これらの資源はそのままで「箱に蓋いた餅」のやうに何の役に立たない。これらの資源はわが國に持つてくるか、或は設備の整つた占領地において、そのもの本来の機能を發揮させるやうに加工しなければならぬ。

わが國ではこの見地から海軍の建艦計畫と商船の建造計畫とを十分に調整しながら、急速に造船能力を向上させるために、戦時標準船型を設けて計畫的な造船に一層の拍車をかけてゐる。

- 1 増産へ！ 増産へ！ 船舶の計畫造船へ火花散る機軸のカス切斷作業
- 2 二二トンの水壓プレス 強力なタービンのシャフトなどの延擧はこゝで行はれる
- 3 職手に厳しく、タービンの翼仕上げは女子産業戦士の手で
- 4 南方には資源がある。たがその資源を運ぶのは船だ。さあ打ち込まう、外板と肋骨を結びベットの
- 5 肋骨は組まれ、外板も張られてゆく。載貨七千トン級の貨物船は、もう間もなく南の海へ船出する





戦時経済は貨物の輸送にはつきり反映されます。貨物ホームを埋めつくした重要物資の山



行先の異なる車輻を整理して同一方面に行く貨車をつらよせるとる組立作業が夜を徹して行われます

# 汽車も兵器だ

戦時輸送強化運動

旅客列車なら旅客が切符を買って自分で勝手に目的地に行きますが、これが貨物と異なるところはゆきません。たとへば一個の貨物でも目的地に届くまでには、どんなに数々の人手と設備が必要であるか皆さんは御存じでしょうか。しかも輸送能力には自から限度があります。その上戦争中では設備はいきほ不足してきます。人手も十分とはいへません。だが、そんなことにはお構ひなしに輸送貨物はいよ／＼増強してゆくばかりです。莫大に軍需品の他に米があり、石炭があり、鐵があり、その他の様々な生活必需品があります。いづれも國防生産力の擴充と國民生活の確保とに必要な重要物資ばかりです。生産地から消費地へ、こゝに貨物輸送の使命があり、經濟の動脈があるわけです。

この戦時國防經濟の動脈を守るために鐵道當局ではかねて厳密な計畫輸送を実施してきました。貨車にも積めるだけ積みました。人手も擴げられるだけ擴げました。日曜日、祭日はいふまでもなく、雨の日も雪の日も、晝夜を徹して鐵道係員は文字通り大車輪の活動です。しかしあとかたきと出される重要物資を生産地から消費地へ、當局的に運ぶためには、當局の努力だけではなほ十分の効果をあげることはできません。比較的重要でない物資はできるだけ出荷を控へることはもちろん、この際不急の輸送は一切やめて、一列車でも二列車でも、これを重要貨物の輸送に振り向けるやうにいたしました。また到着した貨物が配達されたら留守でも引取りができるやうに、郵便を通じて手配しておくとか、會社、商店のやうな場合でも日曜日、祭日だからといって引取りを拒むやうなことのないやうに、それ／＼手配しておきませう。鐵道は兵器だ。私たちが『戦争と輸送』について正しい認識をもつとき、戦時輸送強化に對していかに協力すべきかは自づと判明される筈です。

いま東京の兩國驛で、春の休暇を利用して、貨物の運搬配達に積極的に協力する若い學生たちの熱汗報國の姿は私たちに大きな反省を促すものでなければなりません。



馬車、牛車からリキカ、手車、トラックまで大小の運送機關を動員して、到着する貨物引取状況



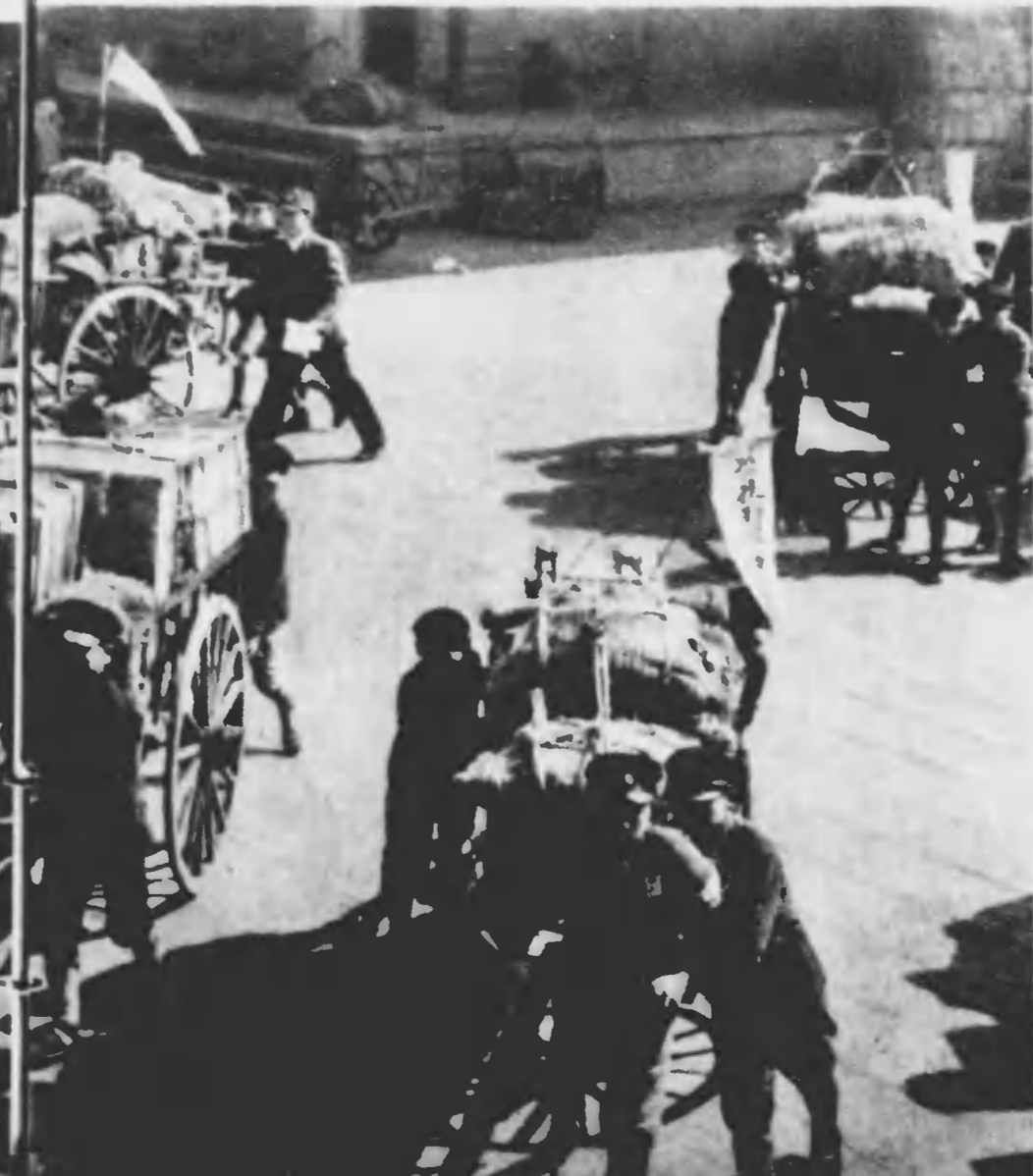
配達貨物の運搬、積込に戦時輸送の一翼を擔ぐ東京府立第一商業學校生徒の熱汗報國

撮影 古田榮 6



小口貨物は各家庭へ、駅から直へ、費を減らし出す東京府立第一商業學校生徒の配車

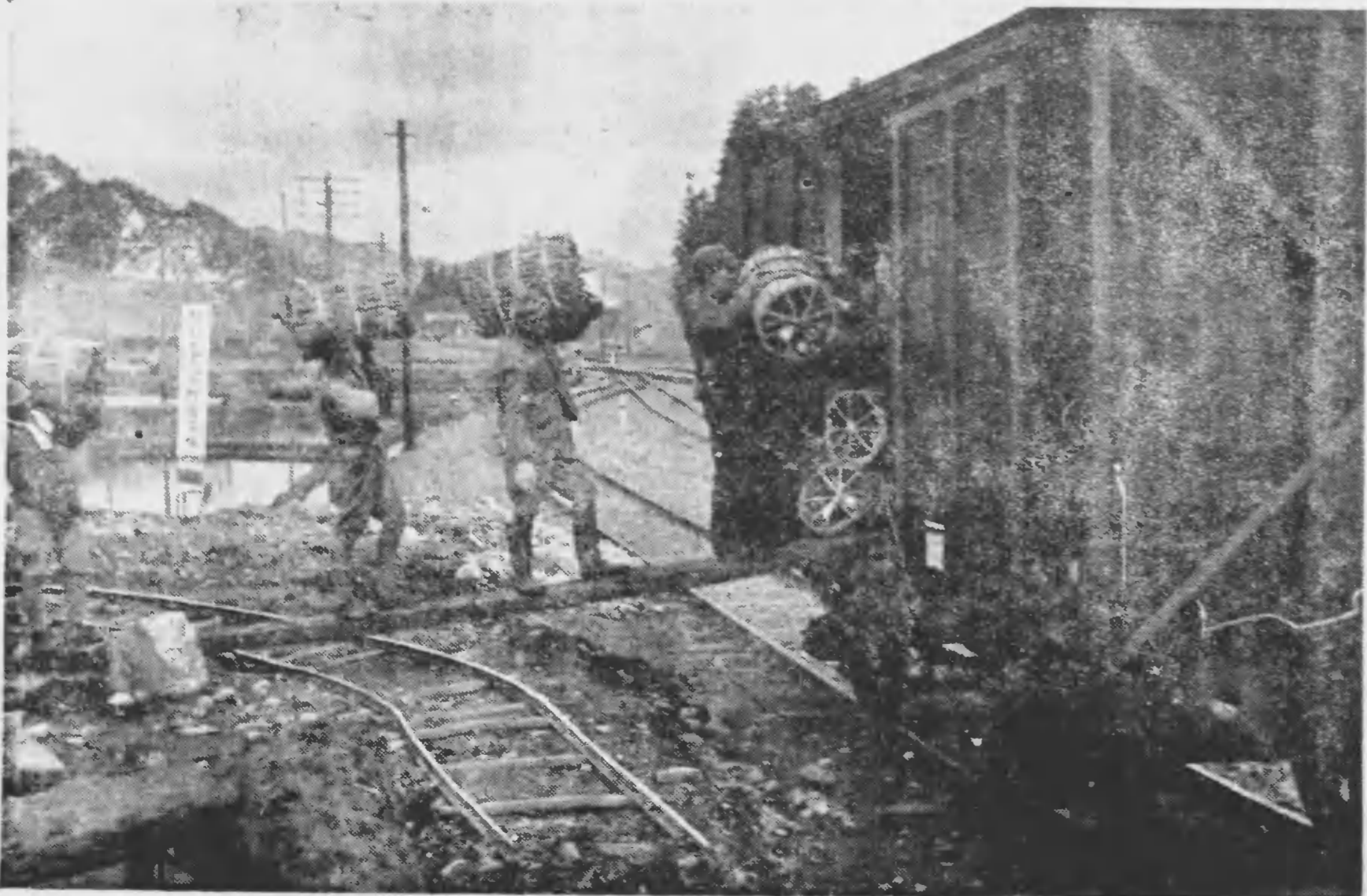
貨物の正確な取扱と規律のある健實な態度と一貫した配達力とは兩國驛の人氣を上げています





山間の僻村にみるこの協力隊員より、  
 僻地なればこそ最も新鮮に感じてゐる。  
 ちがひない難送問題に、全隊一丸となつて  
 邁ぶ一歩々々にも貢献が強く印されて  
 る。

で扱はれる小運送こそは、これら重要物  
 資を囃々まで運ぶならせざる手紙血管、  
 いふことができる。そしてこの毛細血管  
 の健全な働きが、はじめて大動脈の  
 物資輸送機能も安全に發揮されるのだ。  
 輸送力を確保せよ、輸送に協力せよ、  
 の必要に際しては、常に續々と結成  
 せよ、輸送協力を邁進せよ、とあるのが  
 組合協力隊だ。一村全部の青少年男  
 女、壯年男女、または部落全體を協働  
 として組織された輸送協力隊こそは、最  
 時下輸送隊に最も積極性に協力する國民  
 の姿でなければならぬ。昨年十二月協  
 業組合を主體としてこの協力隊が誕生  
 してから併かに三月の間に、全国で一十  
 二八十一組、二十五万六千六百十三人  
 の隊員を育ち、肩を、腕力を、渾身の力  
 と汗を流して、増産運動の一環たる輸送  
 隊に協力奉仕してゐるのだ。十里、十五  
 里の山路を越えて、山間の小村に集積さ  
 れた炭の、米の、麦の俵、この底にはこ  
 れらの人達の貴重な力と、組織された力  
 のみの發揮である強力があるのだ。



重要物資を満載し、晝夜間断なくす  
 まじいスピードで活動せよ、とある  
 船や鐵道が輸送の大動脈とすれば、運身  
 の力を動力として脊に肩、或はは荷車



# 脚だ腕だわれらの武器は

## 戦時輸送強化運動

密元から幾ととも十里の山路を  
 越えて、貨車につまされる炭俵を  
 下したよるこびの色が染んでゐる



## 瀋陽、わが属国下に

昭南島の確保、全羅南道の放棄によつて、大東亞戦争は第二段階に入つた。すなわち帝國海軍艦隊は、去る三月十日南太平洋の敢闘軍艦隊、英領ソロモン群島北端のブカ島タインカロラに進軍、敵前上陸を行ひ、トレス海峡確保を企図した。これに對し、日本海軍艦隊は、瀋陽の圍撃に當り、海軍の援軍をくわはした。一方、ニューギニアのモレスビー、瀋陽のダーウウィンに連續艦隊の用を降らせ、依然、敵性を示しつゝ、太平洋に大なる脅威を與へてゐる。瀋陽が待ちに待つたドイツの救援もつひに空しく、駐米海軍公使ケシーの西亞常駐相任命をめぐつて、瀋陽艦隊のチャーチル英首相とカーチン英首相はつひに正面衝突をし、カナダ首相キンギンもつひに對瀋陽進軍を拒否し、こゝに連環は、差當り打ち切られるに至つた。

## インドの危期来る

このやうにして、インドに對して無言の威嚇が加へられてゐるとき、インドの獨立問題が表面化するに至つた。わが東條内閣總理大臣の演説におよぶ「インド人のインドの獨立運動の實行に相次ぐ」イギリスの敗戦によつて、インドは漸く動搖の兆をみせ、イギリスは、お家の一大事と見せ、カリッパスをインドに急送、ガンダーと會談し、「インド諸領袖の道義的宣言草案」を提案したのである。

## 戦局新の段階

これに代つて、比島から瀋陽へ越へ延びた米の敗將マッカーサーに瀋陽防衛の最高指揮權が與へられ、今や瀋陽は米の團圓化して最後の對日攻勢をつづけることになつたが、米派が露呈した、ハワイ・サモア・オークランドに至る南方進政路も、大東亞戦争の制約、制空權がわが方に歸しつゝある今日、どこまで進軍を確保し得るであらうか。

一方、時を同じうして、わが海軍は、潜水艦、飛行機を中心とし、

## 私どもの構心へ

### アメリカを甘く見るな

しかしながら、これを以て大東亞戦争の前途を楽観するやうなことがあつてはならない。わが海軍の強さを以て知られる國である。この艦隊に行かない、アメリカに至つては、甘くみることは非常に危険である。

成る程、わが第一期作戦によつて、東亞の諸島を失ひ、イム、錫等の戰略物資輸入の道を日本のために斷れたが、何しろ物資は豊富だし、國防力を脅かされたとは、まだ「くへない」のである。今年度には七百七、八十億ドルの大豫算を以て、二承知の通り軍艦、飛行機、戦車、船舶等をつくり大々的の軍備擴張をやらうとしてゐる。鐵石心算は十分である。銅やゴムにしても、まだ「ストロク」もあるし、民間の消費増進、科學動員、米穀の關稅等でも補ふこと出来るやう「日本などごとく」なつてゐる。

### 敵のゲリラ戦に必勝の構へ

何しろ、空と海は廣い、いくらわが防衛線が活躍しても、これを抜けて来ることはあり得る。海に對しては、陸軍として制海權の頼り、外のものがあつた。南方を確保しても、これを開發し、取得し、日本の戦力充實に生かすまではなかなか「容れ」はしない。たとへば、開闢しても運送が大變である。しかもこの輸送をねらつて敵のゲリラ戦が行はれないとはいへないのである。私どもは、かゝる南方の幸が、北、滿洲や支那や日本本土の幸といつしよになつて、敵に抜く實力を養ひ、眞に「持てる日本」になり切るために、こゝに「敵のゲリラ戦に必勝の構へ」の途中、空から、海から、敵のゲリラ戦を受けて、びくともしないだけの心の構へが必要である。

## 勝利、法律

### 戦時災害保護法

空襲の被害に萬全の處置を

こんご戦時局の推移につれて敵機がわが國土に飛來する場合も決してないとはいへませんから、かうした場合に對する處置については十分考へておかなければなりません。ところが現行の制度ではかうした場合に起る被害に對して十分の處置がとりにくいのです。

例へば人の被害に對する救助を目的としてつくられた罹災救護基金法にしても、もともとかうした戦時災害を豫想してつくられたものではありませぬ、そのほかに工場とか労働者災害扶助法とか或ひは防空従事者扶助令などがありますが、これも一般の國民を對象としたものではなかつた。扶助を受けべき傷病も公務または業務上起因した場合には限られてゐますので、戦時被害の對策として不適當です。また物の被害に對する救助を目的としてつくられた戦争保險臨時措置法や戦時災害保險臨時措置法などにも資力に乏しい人々を保護するには



なほ十分であつて、これらの人が戦時災害のために住宅、家財などを失つたり、毀されたりすれば生活をたて直すには極めて困難となつてきませう。そこで政府ではこんどこの戦時災害保護法を制定して敵機による空襲などによつて災

害を受けた人々を保護すると同時に、戦時の災害に對する不安を除いて國民生活の力強い展開をはかることとなつたわけなんです。しかも、こゝで注意しなければならぬことは、もともとわが國のやうな家族國家では、國土の防衛といふことについては國民全體がこれ

に當るべきは當然であつて、それは國民としての義務でなければなりません。この戦時災害保護法による保護は諸外國のこの種の法合のやうに單に損害を補償するといふ建前から出たものではなく、むしろ國家の恩恵であるといふふうで考へるべきものでせう。

罹災者、遺家族を國費で保護

そこで保護の内容を一瞥してみよ。

第一には罹災者に對する應急救助があります。この救助を受ける人たちは貧富の區別なく戦時災害に罹り、いま現に應急の救助を必要とする状態にある者で、救助の種類としては或ひは罹災者に一時避難所、假設住宅などを作つてやつたり、或ひは衣類、寝具、その他鍋、釜、下駄などの生活必需品を支給したり、或ひは貸してやつたり、また或ひは傷病者には醫務を施し、妊娠には助産をしてやるなど廣範圍にわたつてゐますが、このほかに地方長官が必要と認められた場合には適宜の處置が採れるやうになつてゐます。以上の救助は原則として救助に必要な現物を配給する建前が採られてゐますが、金銭を給與することがあつて、便利な場合にはその方法を講ずることになつてゐます。

### 災害の範圍は廣く保護

金は生命、身體、財産などに危害を受けた者に對しその更生に便なやう國家が給與金を支給するもので、支給を受ける者は比較的資力に乏しい人々に限られる様子です。また後者に對する給與金は例へば運輸、通信、瓦斯、電氣、工場、鑛山などのやうに空襲時に對して戦時災害の起ることが豫見できる場合、なほその職場に有關し、天よりの恩恵



この戦時災害による罹災者を保護する機關は、應急の救助にあつては罹災者の所在地を管轄する地方長官がこれに當り、扶助及び給與金の支給にあつては、その現住地を管轄する地方長官がこれに當ることになつてゐますが、このほかに市町村長も地方長官の補助機關として保護事務にあつかることになつてゐます。

第三には給與金の支給があります。これは戦時災害により死亡した者、または戦時災害による傷病のため身體にひどい障害をのこした人たちに對する死亡または障害給與金、住宅（水上生活者の居住用の船も含みます）または家財を失ひ或ひは毀損した者に對する給與金、仕事の性質上、戦時災害による危険を顧みず仕事をしなければならぬ者がその仕事に従事し、戦時災害により傷病に罹り、または死亡した場合の給與金の三種類と、このうち前者に對する給與

踏み止まつて職務をつやげなければならぬ特殊な仕事に従事中、危害を受けた人々に對して支給するもので、これらの仕事は戦時において特に重要であるから、かうした仕事に従事する者には心配のないやうにとの懸念から出たもので、給與金の支給程度も一般の場合よりは高められることになつてゐます。

戦時災害保護法は、以上のやうに戦時局による災害とこれによつて生ずる被害のために危害を受けた者、及びその家族や遺族を國費で保護するものですが、戦時災害の範圍は直接擧げなど危事を蒙つた場合だけに限らず、戦時局と相當に因果關係がある限りはこれをなるべく廣く意味に解釋して適用することになつてゐます。



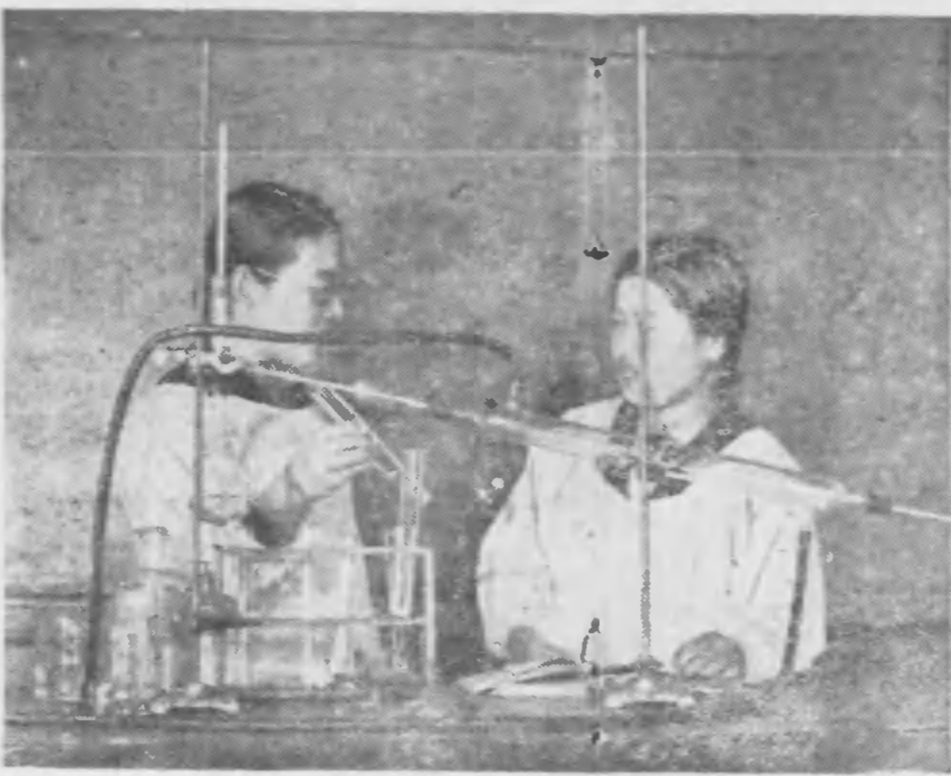
□ 昔ながらの授業に心をこめる



□ 可愛い子も、おとなしく待つてゐるんですよ、女子師範の生徒になつて遺児達

# 教壇に立つ日は近し 遺児を抱いて

岐阜特設國民學校訓導養成所



□ 眞摯にはならぬと心に懸うの化学実験



□ 安らかな母の笑顔、あなた様どうぞ安心下さい——計もつ手に夜が更なる

世紀の大戦争に不滅の武勳を樹て、國師の礎石となつて、はなはだしく散つた夫君の志を受けついで、戦場の中に不届の大和魂をまつて、或は可憐なる父母を養ひ、或は可憐なる遺児たちを抱きつゝ、十代にも起つた若き未亡人の姿こそ大東亜戦争の半面に光り映える、麗しき、偉い戦ひの一面にみられる、さう若い未亡人の姿と違つて、一家の支柱を失つた戦ひの、わが身を踏破の戦ひに奮然と立ちまゐる、せよありがたき戦ひの、失はれ、よくこゝろ下つた、

人のために、全國で中等教員養成所が一箇所、國民學校訓導養成所が六箇所、幼稚園師範養成所が二箇所、設けられてをりませよ。第三回日の卒業生も、雌雄し、戦場に立つてゐる人も、少しもありません、現に約百五、六十名の未亡人の、各地の特設養成所で、勉學に、修業中、あかるい希望の胸を膨らまして、餘念のない日々を送つてゐます。こゝにその一つ、岐阜縣立女子師範養成所内の「岐阜特設國民學校訓導養成所」の遺児たちと仲よく

お母ちゃんいつてらつしやい、ハイ、洋ちゃんも元気だね、と、めい、可愛い聲をあつて、それから四時三十分、終了の振鈴が鳴るまでは精進の限りをつくしての勉強です。講義は一冊も渡らさずと運ぶノートの本の先に、化学の實驗に、樂器の操作に、母なる生徒たちの一瞥も手放さず、力つよくも英霊の血が通つてゐます。部屋にかへると、待ち構へて

終ると、愛児は母の手は一切を託して  
「お母ちゃんいつてらつしやい」  
「ハイ、洋ちゃんも元気だね」と、めい、可愛い聲をあつて、それから四時三十分、終了の振鈴が鳴るまでは精進の限りをつくしての勉強です。講義は一冊も渡らさずと運ぶノートの本の先に、化学の實驗に、樂器の操作に、母なる生徒たちの一瞥も手放さず、力つよくも英霊の血が通つてゐます。部屋にかへると、待ち構へて

任馬のときから育ててよ、今がや毛並もそろつてゐるよ、お母さんの美しい聲と坊やのあつた歌聲が、賑やかに交響して、前の夕は、なごやかに暮れてゆきます。この間にもお母さんたちは汚れものの洗濯や今日の復習にせつせと手が動いてゐます。六時、夕餉がはじまります。食前奉養の道徳前に集つて「けふも一日無事で暮すこと」ができました。坊やもこんなに「元氣です」と告げるひとときがうれしき。それから十時の消燈まで、遺児たちもいつしか眠り、その安らかな寝顔を窺み見れば、母たちは故郷の父母に送る便りを、また練筆に、學習に、いそがしい中にも平和な一日が終つてゆきます。

かうして渡へられる未亡人たちの数は、約五十人。初等科は一年、本科は二年の課程を経て、やがて諸國の官邸深くねむる夫君にも芳らぬ心意氣で、教壇に立陣されることとありませう。

た、朝な夕なわが身をこめて、ます日本婦人の強さ、新婦は、英魂の安らかに眠れ、あなたたちが愛する妻たちは、かうして、中にもあきらめられてゐる、あら、昔ながらの授業に心をこめて、新しい、與へられた仕事に、に、あなたたちの志をこめて、更生の道を歩んでゆかれようとしてゐるのです。

さうして新生活への一つの姿として、希望多き將來を少國民の教育養成に捧げようとする未亡人たちがあつてゐます。現在、この方面に進出する戦後特設の未亡



ことはない。支那人も同様、自分の祖先が廣東省の生れであり、福建者から移住して来たといふこと以外には自分の故國については全く無知である。インド人も支那人も、このことを自分の故郷と心得てゐる。二世、三世は皆論のこと、最近移つて来た人達と雖も恐らく同様であらう。マレーにはかやうなマレー人以外の種族が極めて多く、その数は本来のマレー人より餘程多数を占めてゐる。Hindusといふ言葉がある。私達の觀念ではHinduといへばマレー人である。マレー人種のことばかりかと思つてゐるが、或る時、或る事を翻譯するに當つて現地の人の意見を聞くと、私達の考へは全く間違つてゐた。マレーで使ふこの言葉には單にマレー人ばかりでなく、支那人でもインド人も(英人は別)マレーに住む種々の人種を含んでゐるのである。この英語がどうして生れて来たか、また英國がこの言葉のうちにどれほどの政治的意義を含ませたかは知らないが、私達の感じでは極めて自然で無理のない言葉のやうに思はれる。それほど外から入つて来た支那人も、インド人も殆んど錦衣歸郷を夢みるやうな人達ではなく、この地を墳墓の地と考へて(或ひは全くそんなことを考へない程)ゐる人達である。

私達はかやうな支那人、インド人、マレー人達と仕事をしなくてはならぬ。そして彼等の人情や習慣や感情を透つて如何にも理解し切つたやうな態度でインド人同士、顔を見合はせて冷笑し合ふのであつた。資の流通が杜絶して、物資を貯へてゐる支那人の商人が戦前より高價で商品を販賣するのと、あの支那人が遠方もない高價でなければ品物を賣らないと怨々として私達に訴へて來るのである。

戦争直後の土地でカレー粉を採しつてやることもまた私達の仕事の一つであつた。さらにもう一つは椰子の果肉(コブラ)となるところが彼等の常食となつてゐるのである。この椰子の果肉は私も食べてみたが、決して吐き出すほど不味いものではない。彼等はこれの果肉をそのまま食用に供するのではなくして、その汁液を搾つて他のものと混ぜて食べるのである。椰子はマレー全土に至る所にあるといつていい。しかし無い所も無きにしもあらずである。また種々の理由で簡単に得られないやうな場合も開々ある。こんな時、彼等の淋しさうな顔を見ては、かりにも主従の關係を結んでゐる私達に及ぶ限りの努力をして與へてやらなければならぬのである。以上は主としてタミール人(キリン族ともいふ)と呼ぶ最も色が黒い人達のことであるが、頭にターバン(布の鉢巻のやうなもの)を巻いたパンジャビ人もマレー人も同様私達と異つた物を攜り、しかも各人種また各、異つた食物を食べなければならぬ。

食事に對して苦心したのは彼等の性情と相互の感情問題である。マレー人は皆折り腰であるといふことは、マレー人に長く接する人達の間に於ける定評である。私達が或る地點から或る地點へ移動する兵隊がせつせつと仕事の上の荷物運んでゐるのに、マレー人は眞先に自分の荷物を運び自分の部屋を決めてしまふと、もうわがこと足れりといふ顔をして他人の仕事を眺めてゐるのである。獨りマレー人のみならず殆んどかやうな傾向は共通であるが、中でもマレー人は極端であつた。

### 或は私事仕る

の關係でマレー戦争の始めからずつと幾人かの支那人、マレー人、インド人(このうちにはパンジャビ人といふミール人といふ最も黒色な二人種がある)を使ひ、彼等と起居を共にしながら、戦争を續けてきた。マレーにはなほ、ほかに多数の人種が住んでゐるが、この三種族(四種族)はマレーに最も多くを占めてゐる代表的な人種である。しかも彼等は皆マレーで生れ、マレーで學び、マレーに住んできた人達である。インド人は自分の父や祖父の故郷がセイロン島であるとか、北極インド人であるとかを知つてゐるだけで、一度もその地を踏んだ

情の極少部分ではあるがそれを電ふことができた。進展に従つて、或る町には五日、或る町には七日といふ具合に、大ざから次ぎへと移動して行つた。かういふ生活のうちで一番困つたのは彼等の食事である。私達兵隊は何でも食ふことに馴らされて、何が無くともいなりに食つてゆくが、彼等はさうは出来ない。インド人の如きは宗教的な戒律から或る特殊なもの以外は何も口にしない。二十二、三歳の若いインド人がさうである。私は支那から佛印、そしてマレーと歩いて來て何時も感ずるのは日本のやうに野菜がなくて肉の多いことである。特にマレーはこれが甚だしい。住民の殆んど避難してしまつたあとでは、一把の野菜を求めると一日駆けずり廻つても、或る時は無駄に終るやうなことさへもある。勢ひ私達の副食物は肉類に偏するやうになるのである。こんな所で肉類を食はないインド人は全くの足手纏ひであつた。

またインド人はカレーを食はなければならぬ。或る時、インドカレーを食ふと吐き出すといふので、彼等に作らせて食へてみたが、その辛いことは正に天下第一品。私達は皆ほろ／＼涙を流しながら漸く二口、三口食ふことができた。そんなカレーを食ふなければならぬ。彼等に未だ住民の歸らないを透つて自ら貧困を招く他の現地人の生活態度同様、政治の手によるやう利用してゐたのである。この支那人の利用と現地住民に對する

なれば食ふべしといふ凝り方である。幸ひにも私の使つてゐたマレー人はなか／＼器用な男で、全部自分で作つて食べてゐたが、パンジャビ人となるとどんな面倒なものを食べるのか分らないが、着いた先で逃げないでゐる何人種を探しては食事の世話をして貰ふ始末である。

### の争戦物めた

その後如何にも理解し切つたやうな態度でインド人同士、顔を見合はせて冷笑し合ふのであつた。資の流通が杜絶して、物資を貯へてゐる支那人の商人が戦前より高價で商品を販賣するのと、あの支那人が遠方もない高價でなければ品物を賣らないと怨々として私達に訴へて來るのである。

戦塵抄  
地帯もあるといふ 敵陣に這ひ寄りたるとき  
後方部隊より  
時ならぬ萬歳のどよめき  
傳はり來る  
やがて  
敵兵隊の飛躍來れども  
われら未だ敵と睨み合へる時なれば  
たゞ隣に伏せたる者と  
手を握り合へるのみ

パイアレバー附近にて  
中室員 重  
八男哲二郎  
安藤幸太郎

にり餘迫壓も  
支那人とインド人とマレー人は英國人に、インド人とマレー人はさらに金銭的に支那人に壓迫されてきた影響は彼等の性格をかかなり卑屈へと導いてゐる。私は自分の使つてゐる人達からもしば／＼その光景をみせつけられてきた。

彼等は相互に他人種を誹謗し合ふことが極めて好きである。私は或る星の降つた夜、涼をとりのながら私の使つてゐる人達のうちでは最も頭のいいタミール人と語り合つたことがある。その時、彼はインドが獨立できない最大の原因は英國がインドに數多くゐる各人種を相互に闘争させて團結するのを阻止してゐるからであると口を極めて述べ、憤しながら、彼自身は同じインド人であるパンジャビ人を快く思はず、そのためパンジャビ人から私達に不平を訴へてきたこと一再ならずであつた。

元來支那人が商才に長け、経済的に他の現地住民より優位を占めてゐるのは南洋一帯の特色である。しかも支那人は自分の財を蓄へるためには、あらゆる非道な方法も辭さないことは私も知つてゐる。佛印でも蘭印でも、またこのマレーの地でもこのことに變りはない。このためしばしば支那人を他の現地住民との間に流血の惨事が絶え間なく惹き起されてゐる。支那人が被る自身の經濟道徳に従つて金儲けをするのと對しても、その反面に苦惱する多數の人達があることを思へば、それは毎日怠惰な生活

大詔に應へまつらんこの一票  
四月三十日は投票日

私は身を切られるやうであつた。私達が買つてきたものを二回儲けて私に賣つたことが判つて、私は裏切られた淋しさにわたたまれなかつたことがある。彼等の間ではそんなことは日常茶飯事といふよりむしろ當然のことであるかも知れない。しかし日本人である私は身を切られるやうであつた。



フィリピン繪通信

向井潤吉 畫

鈴木三郎 畫



建設一路日の丸バスも快速調

昭南島通信



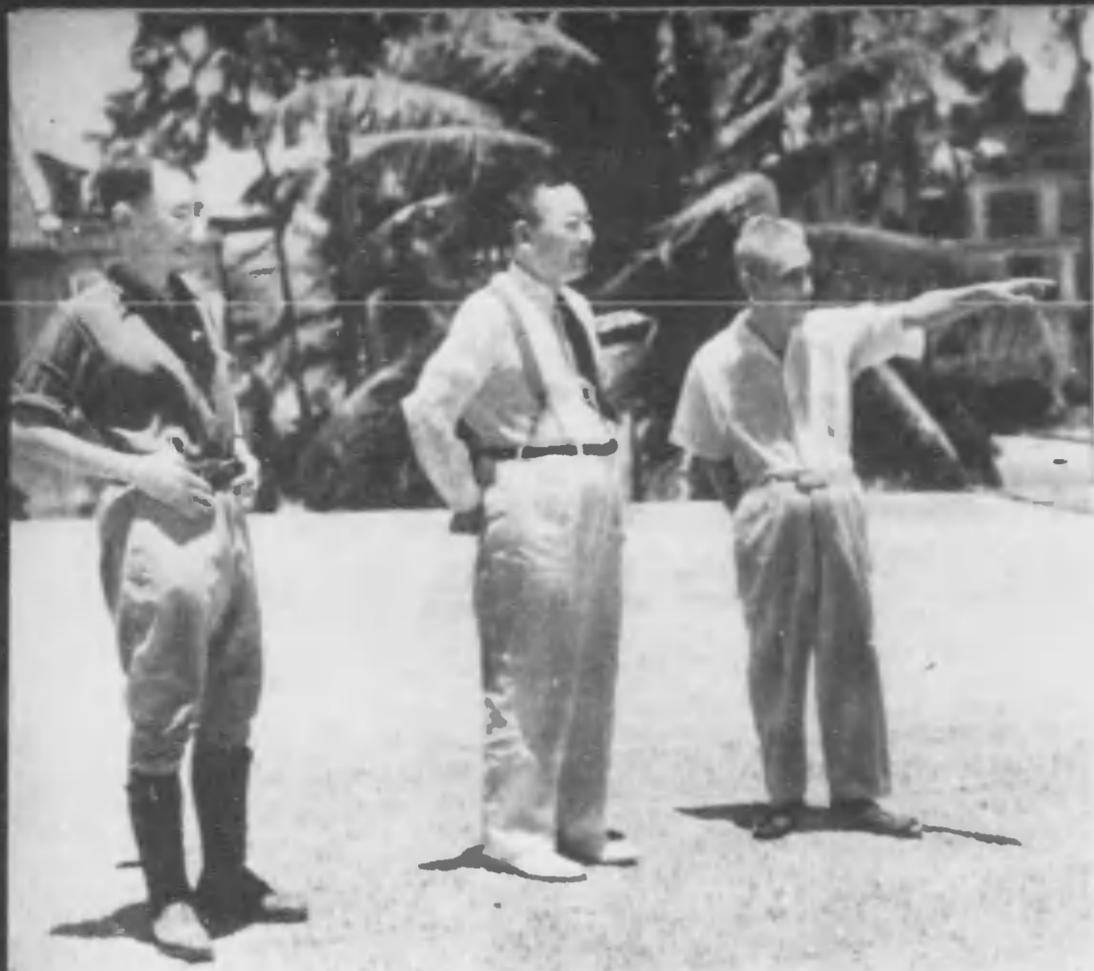
昭南神社に参拜する皇軍將兵、昭南神社は明治二十三年頃建立され、昭南神社として、永く在留邦人の氏神様であった。徳川各陸軍軍政顧問

ユニオン・ジャックが消えて二ヶ月、南の風にはためく日章旗の下、昭南島は急速にイギリス的色彩から脱皮し、新しくわが南方の一大據点としてその復興を急いでゐる。建設はまづ交通から着手され、マレー線貫鐵道の全線開通式が舉行されたのは、既に一ヶ月以上も前だが、三月十五日からは昭南市街には無軌道電車も頻々と疾驅し、東亞共榮の相乗り風景を見せてゐる。一方市民生活の安定策と金融機關の設置も決定、戦前シンガポールを中心として流通してゐた七億ドルの海峡ドルも軍票の攻勢に今や全く潰滅に瀕してゐる。また文化工作も着々歩を進め、昭南島放送局は三月二十八日から早くも短波放送を開始、新聞も外字紙には軍宣傳班の指示で必ず日本語欄が設けられ、市民の日本語習得を促進する等、その進捗ぶりは全く日愛ましい。色褪せたユニオン・ジャックの面影を拂拭し、名實ともに日の丸一色に塗り潰す、これが新生昭南島の新しい姿だ。

明るい灯、冷い泉、快よいシャワーが、また市民の生活に歸つてきた。朗色溢れるニューブリッジ街

大東亞戦争日誌

三月  
二十三日 ●未明、帝國陸海軍部隊は南アンダマン島ギートブレアに奇襲上陸を敢行し、同島英軍を無條件降伏せしむ。  
二十四日 ●帝國海軍航空部隊は十七日以来、連日暹羅本土北部、ニューギニア島、ソロモン諸島、及びベンガル灣のアンダマン諸島一帯を襲撃、その軍事施設を破壊する。●帝國海軍所、ギートブレイ、ダービー、ブルーム、ウァンダム、ホーン島、スラバヤ、ギートブレ、スビー、ニューギニア島、ウツラキ、ソロモン諸島、ギートブレ、アンダマン諸島。





# 独逸海軍の仇 エクセターを屠る

スラバヤ沖海戦 撮影 海軍省

1942年2月27日午後5時、スラバヤ沖海戦。独逸駆逐艦「エクセター」が撃沈された瞬間。大日本帝国海軍の艦隊が「エクセター」を包囲し、撃沈させた。

ワグラー六隻を主力艦とした敵艦隊であった。同日午後五時、我が艦隊が敵艦隊に遭遇した。この激戦は、前記の敵艦隊は、我が艦隊の攻撃を受け、遂に敵の駆逐艦を連発し、海上に発見して、これに敵艦隊を放つてから、我が艦隊は、独逸海軍の我々の間に展開された。

手の方軍主力を得てわが方の包圍態勢は成った。ちり／＼と撃つわが包圍態勢は、いまや全く敵の崩壊となつた。エクセターは、猛烈な反撃に出た。わが集中砲火は、エクセターに向けて射撃する。爆々たる煙幕を張りながら、右往左往する敵の駆逐艦、完全な「死の網」に入つた。この集中砲火の中に、しかもエクセターは自爆もか、けず最後まで必死の戦いを続ける。思へば、南オランダのモンテヴデオ沖に盟邦ドイツの戦艦グ

スラバヤ沖の海戦に敵の聯合艦隊を撃退した帝國海軍は世界戦史に誇る輝々の偉勳を大東亞海に打ち樹てたが、この輝かしい戦勝を物語る真実がこんど海軍省から発表された。真実は英巡洋艦「エクセター」が先づわが砲撃に傾き、駆逐艦の発射した魚雷にあへなく轟沈された状況をわが〇〇機が空中から具さに撮影したものである。

正確を極め、全艦はエクセターに命中し、同艦は甲板上を引いて艦列から落伍していった。かくて夜に入つても敵艦は續けられたが、遂に二月一日、朝々日の光が砲撃を受けて落伍遁走した。このエクセターは、獨逸艦隊を伴つて、東方の諸島を知らずには艦隊を修理して再び艦隊の合同を為すで現れた。ところが、出合頭に我が艦隊の主力を待見、急反轉で逃げようとしたところ、前しく、その逃走路の前方に前日の合同の敵艦隊に急進かけつたわが友軍艦隊が待ちかまされた。新

ワグラーの艦隊を自沈せしめた後、今また帝國海軍へ矢を射し、もうとする悲壯にもまたげなげな姿である。たまたま、間にわが砲は敵の砲塔を粉砕した。大いで、弾はエクセターの機関部を射た。その間に、エクセターの速力はかつ／＼と落ちた。その間髪を人せずわが艦隊一隻は、敵艦の如く艦隊にすれ／＼まで肉薄し、挺身の魚雷を放つた。命中！ 轟然たる水煙のうちにエクセターは艦尾から海中に突込み、攻撃四十分、最後まで戦艦旗をマストに掲げながら海底に姿を没したのであつた。



(分十三時一後午) 状況の詞解沈轟命中に舷右は雷魚だし射發の艦運驅がわ



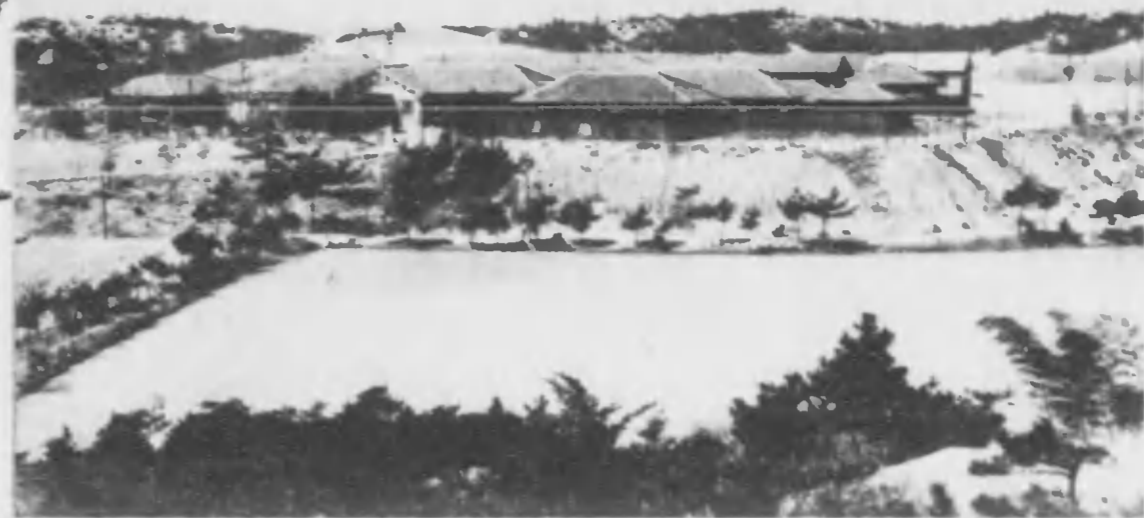
前直のそかたし覆顔へ舷右に前を没沈



後面たし、海中

# 春陽の光 を浴びて 健やかに育ちたい

愛知県瀬戸少年院



過つて罪を犯した少年を、温かい心でかへ、彼等にまつた心を歩ませようとの趣旨で、少年法が布かれたのは大正十一年四月十七日、今年はそのやうに満三十周年にあたります。この意義ある公布日を記念して、八日から十日間、全国的に少年保護運動が展開されます。

少年は傷みやすい若木のやうなものです。世の暴波にもまれて成長してゆくうちに、ふとしたこころにも本来の清らかな心が失つて、いつかお黙の道へとふみこみやすくなります。とりわけ、今は大戦争のさ中で各家庭でも働ける者まみんな國家のために忙しく働いてゐる時代です。むろん瀬戸の少年も色々な産業方面で國家の大切な職士として活躍してゐます。

うした時代にあつては、ともすれば家庭の監督がゆるんだり、少年たちに小遣銭が過分に恵まれたり、戒ひはまた年齒もゆかないのに大人の仕事を真似たりする機會が多くなつたりして、ついに花が芽生えます。

けれども、もと／＼少年には何の罪もありません。その罪は家庭をはじめ、社會全般が負ふべきものです。そこで國家では、少年保護制度を布いて、各家庭や學校その他の團體と連絡をとりながら、早く若芽のうちこ不良の傾向を無くしてしまはうと努力してゐるわけです。

幸ひ少年は傷みやすいだけに、また少しの注意深い努力で清純な心に戻すことができます。世の親たちはもちろん、すべての人がやさしい心根で彼等のかりそめの罪を許し、愛情を傾けて送り導いてゆけば、不幸な少年たちは容易に次代の日本を脊負ふ大切な柱として生れ返へるのです。

こゝに見る瀬戸少年院は、少年審判所で處分を受けた少年を保護矯正しようとする國家機關の一つで、百名餘の少年たちが親代りの先生方の慈愛を身一ぱいに受けて、明るく清い生活のうちこ、見違へるばかりの立派な魂の人つた日本人へと更生して、いつてをります。

撮影 橋本満吉

院生達の現役志願は實に熱烈なものであり、その数は毎年五、六十名の多き上つてゐる。



この院からも多くの名譽ある軍人を出した。院生達はそれのたひごとわがことのやうに感奮して入隊者を送つた。



院生達の現役志願は實に熱烈なものであり、その数は毎年五、六十名の多き上つてゐる。



まつた心と共に強健な體を造りあげて御本公の目を待つ力一杯の勤勞作業。



「ヤア、大きなやつを釣つたナア」今日は先生と一緒に愉しい魚釣り。後の瀬木の築みで雨が降いてゐる。

# 米を積む瀨八丁の フロヘラ船

撮影 小石清



萌え出づる新緑に映えて瀨の流れは春めいてゐる。その瀨八丁をけいも船のやうに飛行艇(フロヘラ船)が下流から上つてくる。操符にも紛ふ高い音響に一瞬瀨の静寂が掻き乱されるとみる間に、目の前を進むフロヘラ船の中には一人の観光客も見当らず。艇中は観光客に代つて米、味噌、醤油等の生活必需品がぎっしり詰められてゐる。

新宮市の川原を起點として熊野国立公園の景色を代表する九里峽を廻り、天下の景観を誇る瀨八丁や天誅組で有名な十津川郷へ通ずる観光船として世間に知られたつてゐたものの飛行艇が、トラックや自動車等の輸送機関が減少したいま、奥地との交通関係としてはかりではなく、奥地に生活する人々のために日常生活の必需品を運ぶ、また奥地からは木炭、繭、乾物類を満載する國策輸送機関の花形として就航してゐる姿であつた。

「國策輸送」の文字を船側に掲げ十津川をゆくフロヘラ船。船尾で積荷をのける。観光客を載せた船腹(手前の船)はお米で一杯だ。新宮川原の發着所。



- 1 日本人に毎日一合つ、増配するだけのお米を南方から持つてくるとする、これを運ぶのに一萬トンの貨物船が何隻必要だと思ひますか?  
二隻、十隻、五十隻、百隻、二百隻、五百隻、千隻、
- 2 空襲その他戦時の災害で生活困難に陥つた場合、戦時災害保護法によつて保護を受けるのは有難い限りですが、その代りに選挙権とか公民権などを失ふやうなことはありませぬか?  
んか?
- 3 山から炭を、農村から米を運搬するのに積極的に協力する部隊が最近生れました。何といふ部隊ですか?  
4 昭南市には日本の神社があまりありますか? それだけはいくらですか?  
5 昭南市には日本の神社があまりありますか? それだけはいくらですか?  
6 昭南市には日本の神社があまりありますか? それだけはいくらですか?  
7 昭南市には日本の神社があまりありますか? それだけはいくらですか?  
8 昭南市には日本の神社があまりありますか? それだけはいくらですか?  
9 昭南市には日本の神社があまりありますか? それだけはいくらですか?  
10 次の文に間違ひがあれば正して下さい。

## 訪日面漫争戦亞東大 介 川石



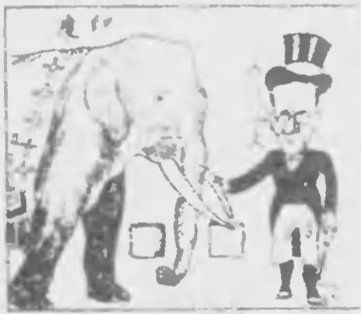
亂混軍米の火を部編首



手廻り米に日抗のしりぞ



文罵とシサーキで闘問報皇



采鳴御のたしまれ様、上野首



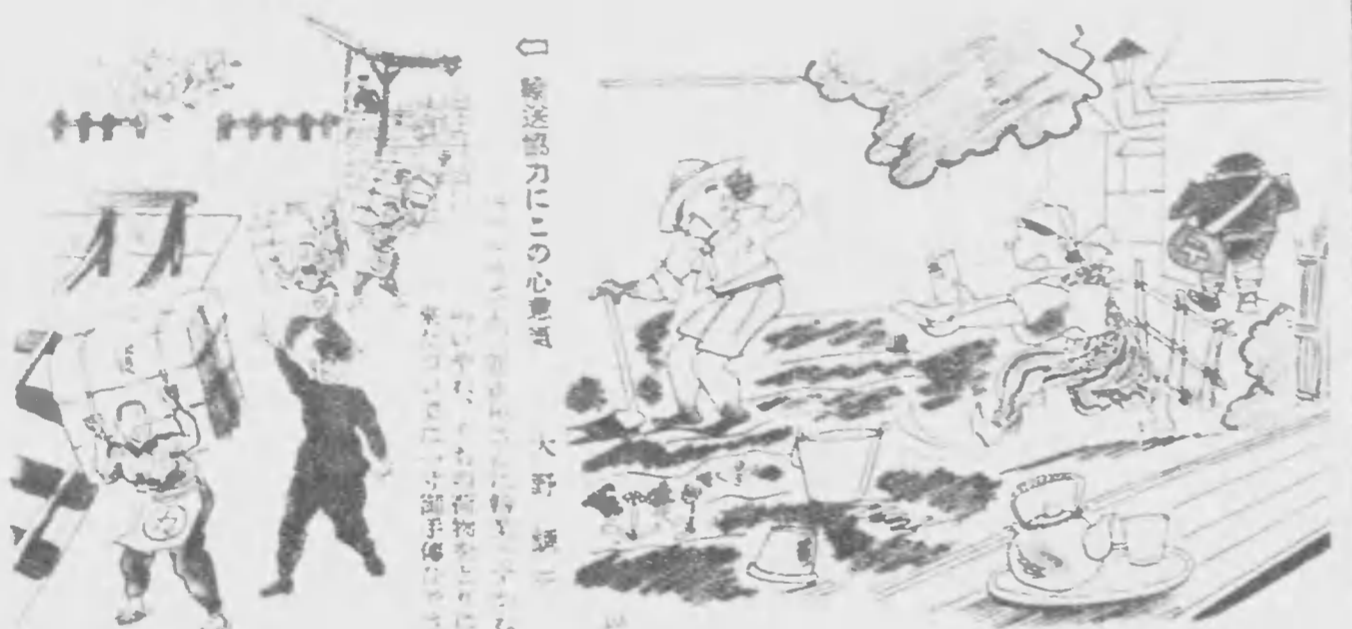
りか子妻はふ思送故の廣伴



る人に内閣軍機が



野菜の代りに日  
種子送つた



輸送部刀にの心憂風 大野 謙



親の手紙  
時節的 義道は大變多  
九日、わしは送るも  
この通り元氣のやうに  
家へお返し、あな  
様を待たせよ。

おそいつばめ  
お急ぎなら四日光の特急より、今  
日の飛行の方を早くお返しませう。

京原 鐵平

所 達 申	價 定	寄 附
全国各地官報販賣所	一部十銭(送料一銭)	内閣印刷局
新聞販賣店	一部十銭(送料一銭)	寄附金
書局・驛書店	一部十銭(送料一銭)	寄附金
寄真材料店	一部十銭(送料一銭)	寄附金
寄真材料店	一部十銭(送料一銭)	寄附金



★表紙  
この春もまた五千餘名の警れ  
の遺児が全国から上京。三月二  
十八、九日なつかしい九段の文  
部省に参拝したが、参拝の  
日に先立つて二十七日、遺児た  
ちは悲しくもこの日陸軍統監  
士官學校へ行幸の儀を奉迎す  
に許され、春光を以て京城外苑  
にこの光榮の儀を奉迎すに上  
げました。

東京新聞 昭和二十二年四月五日 郵政省特許第... 印刷局印



郵政省特許第... 四月五日 出売品便郵

# 大東亞戰爭國債

大藏省 逓信省 日本銀行

内閣印刷局印刷發行

(列強標準1-A4倍額定額はさき大の資本)